

図書館名：光が丘図書館

図書館利用者懇談会 ～利用者からの意見等への回答(概要)～

【対応状況・凡例】

- ◎ すでに対応している項目
 ○ 早急に対応を行う項目
 □ 施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目
 △ 全館で対応を検討する項目
 — 対応が困難な項目

番号	利用者からの意見・要望の概要	図書館の考え方	対応状況
1	会議室・視聴覚室にハンガーラックと傘立てを設置してほしい。	令和6年度中に全室へ設置します。	○
2	2月22日で30周年だが何か記念イベントがあるのか。	2月22日の前後で、光が丘図書館の30年を振り返るパネル展示を実施しました。令和7年4月以降も30周年記念の事業を実施していきます。	◎
3	貸出期間を延長する場合、操作した日から2週間になってしまうのもう少し余裕がほしい。	今は予約が入っていない本もその後に予約が入ることも考えて、操作した日を起点に運用しています。	—
4	予約が殺到している本について対策をどうしているのか。	予約数や各館の所蔵状況に応じて本を購入します。	□
5	貫井図書館の対面朗読室、視聴覚室の利用が大変多いのに3年も使えなくなる。代替場所を考えてほしい。本が受け取れるロッカールーム式も考えてほしい。	対面朗読とブックスタートは、近隣の区立施設にて継続する方向で検討しています。視聴覚室は、中村橋区民センターをはじめ、他の区立施設での代替利用をお願いします。ロッカー式の受取は、設置の予定はありません。	◎ —
6	システム変更後、検索がしやすくなるのか。	システム変更により良くなる部分もあると思いますが、検索しやすい方法について周知していきます。	□

7	貫井図書館改築の実施設計の中で障害者への配慮についてどのような配慮がされているのか。光が丘図書館の中でも障害者の利用について、どのような配慮がなされているのか。	バリアフリーについて、法令等で義務付けられている基準を遵守した上で、廊下・通路の幅員をさらに広くしたり、各階にバリアフリースイレを設置する等の設計としています。 光が丘図書館には、「リンゴの棚」があり、大活字本、オーディオブック、誰でも理解しやすい本を置いています。また、車椅子がどこでも回転できるように通路の幅を広めにし、対面朗読室、録音室を作りました。	◎
8	在架図書と閉架図書の入れ替えは、どのくらいの頻度で行っているのか	開架図書と閉架図書の入れ替えは基本的には行っておりません。閉架書庫のものに予約や貸し出しがあった場合には、取りに行って対応します。	—
9	ボランティア団体の者がよみきかせ・お話会に参加するにはどういう資格が必要か。	よみきかせ・おはなし会では、年1回のボランティアの募集を行っており、個人でボランティア講習会を受けていただきます。ボランティアのグループがあり、その中で調整を行っています。	◎
10	他の図書館で利用者懇談会の利用者の参加が少ない館があるので、各図書館で懇談会の日程をもう少しアピールしてほしい。	区報、図書館ホームページ、図書館だより、各図書館の館内掲示、館内放送を行っておりますが、さらに参加者の増加につながる周知方法を検討してまいります。	□
11	視聴覚室に設置されている機材が使えない。直して図書館の全てのものをできるだけ有効に使って運営してほしい。	プロジェクターを購入し、映写会はできるようにしてあります。視聴覚室に設置されている機材の修繕については、大掛かりな工事を伴うことから、図書館の改修時に検討します。	□
12	よみきかせ・おはなし会のグループは、読み場を開拓するのが結構大変なので、保育園、幼稚園、児童館等とのマッチングを区に進めてもらいたい。	どのようなマッチング方法があるか検討します。	□

13	貫井図書館がいつから閉館するのか、具体的に教えてほしい。	施設の解体工事の開始時期が未定のため、現時点では、休館の開始時期をお知らせすることはできません。内容がまとまり次第、お知らせします。	☐
14	貫井図書館の視聴覚室で委託講座を行っているが、委託講座の事前申込の関係でいつまで使えるのか情報がほしい。	施設の解体工事の開始時期が未定のため、現時点では、休館の開始時期をお知らせすることはできません。視聴覚室の利用についても、内容がまとまり次第、お知らせします。	☐
15	練馬中央図書館をしっかりと作るような協議会をぜひ立ち上げてほしい。	光が丘図書館は、中央図書館的機能をもつ図書館として開館しており、資料集、蔵書数、貸出しについて、日々努力しているところです。	—
16	中学校への本の探検ラリーの開催は2校、団体貸出は、43団体しかない。もう少し、図書館から中学校へ働きかけて、交流が進めばいいと思う。	中学校での普及に取り組んでいます	◎